



SDGs Garden



淡路花博 20 周年 花みどりフェア



メインガーデン

竹の風車

タマリユウ

ピオラ

竹

淡路瓦

シーグラス

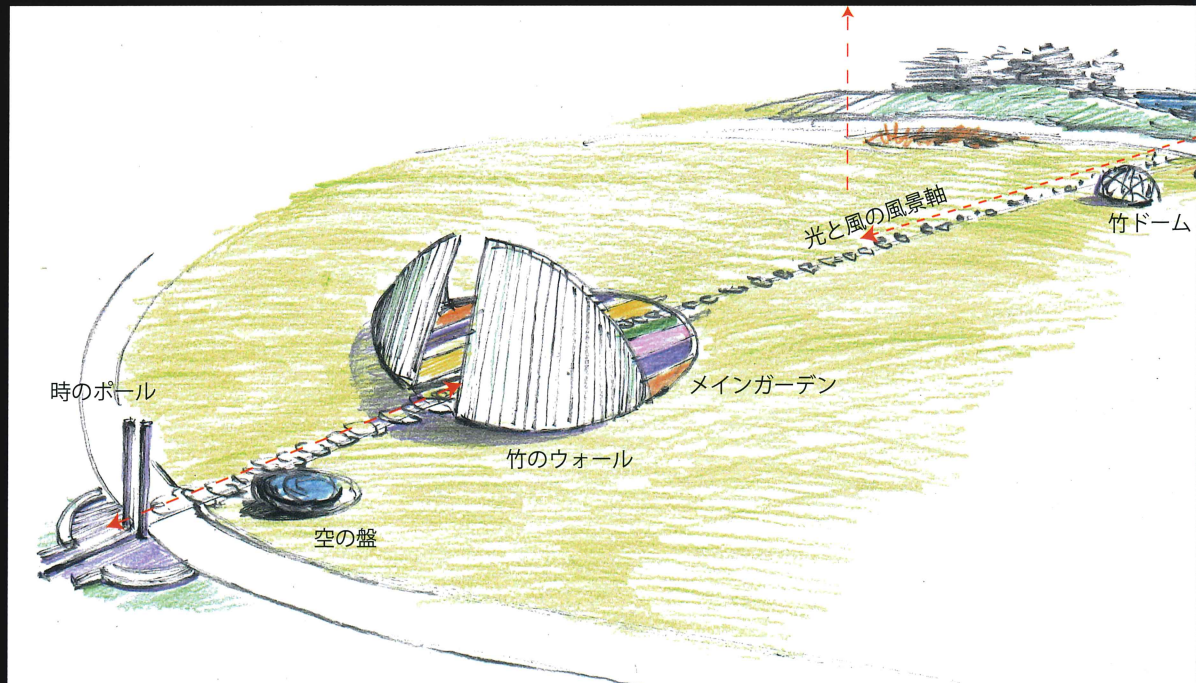
シーグラス

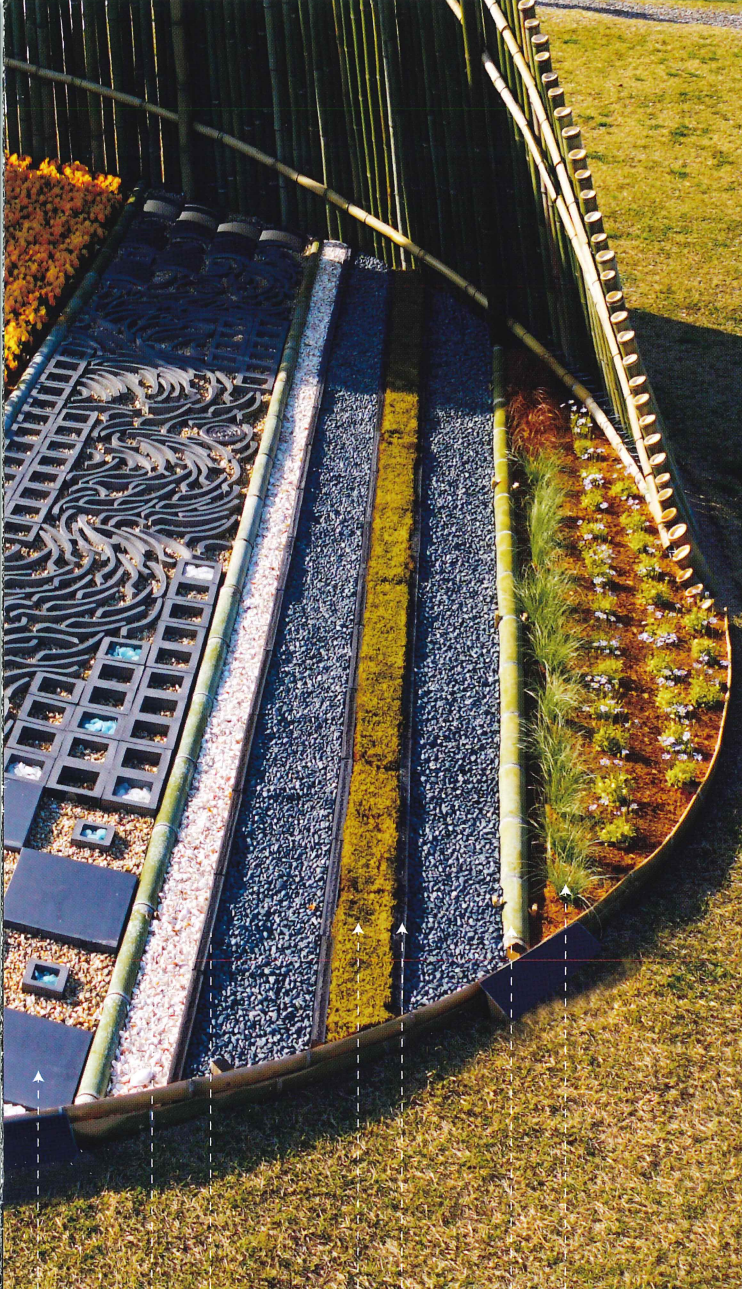
冬至 10 時の光にあたる光のライン

冬至 10 時の太陽光に沿って道と多数の風車を配置、ここで光と海風を感知し、陸と海をつながる風景軸を体感する。



時のボール





淡路瓦 貝殻 淡路瓦 砂苔 淡路瓦 竹 カレックス

作品について：

SDGs の目標 15「陸の豊かさを守ろう」をキーワードに、淡路島内で拡大する放置竹林に着目し、山から間伐した竹を主な材料としてガーデンを作成した。ガーデンの中央には、冬至 10 時の太陽の位置に向かって、海への風景軸を竹の風車を用いて誘導し、陸と海を景観的につなげていくと同時に、風車の動きによって光と影の変化や空気流動の“見える化”を工夫した。また、淡路島生産の花や瓦を用い、加えて学生たちが海岸から拾ってきたシーグラスや貝殻など地域特有の材料を活用し、地域特徴のあるガーデンづくりを図った。



ガーデンの南は海。作品は海の景とつながる景観演出を図った。



海に向かった景観軸。竹製の風車は海風の動きを感知して回転し、空気の動きを可視化したことで、五感を駆使した体験を促した。

ガーデンの北部入口にケーブルドラムの廃材を活用した硝子盤を設置し、青空を映すことによって天空の縮景も演出。



海



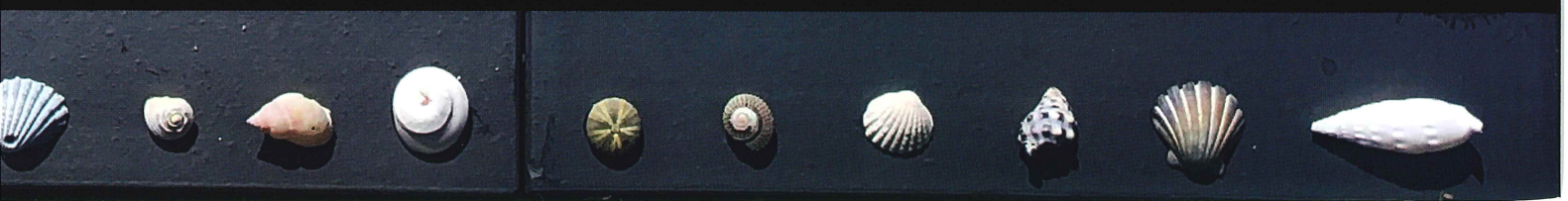


海の風景につながったガーデン





(花 + 苔 + 草 + 竹 + 瓦 + 貝殻 + シーグラスによる共演)



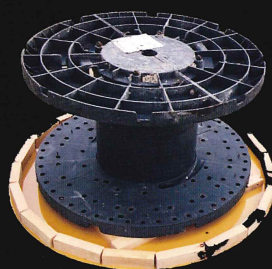


淡路島内に放置された竹林

竹を活用



淡路瓦



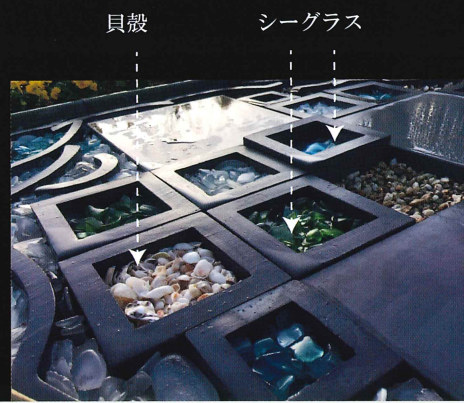
ケーブルドラム廃材



廃材を活用（を竹加える）



淡路瓦 + 花 + シーグラス + 貝殻で活用を

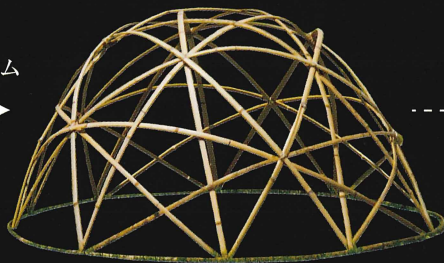


貝殻

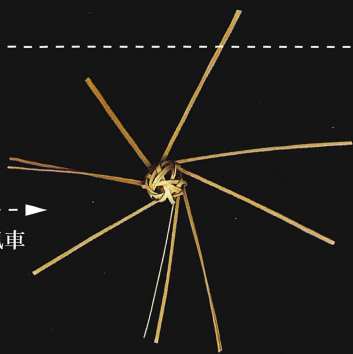
シーグラス



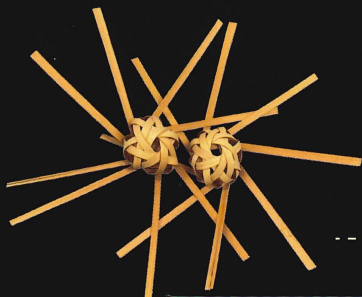
竹のドーム



竹の風車



竹の風車



光と風の風景軸に



廃材を活用（台づくり）

青空を映す硝子盤



海岸から拾ったシーグラス+貝殻を活用

活用



シーグラス



波に押し寄せられた
貝殻やシーグラス

活用

活用

貝殻





設計・制作

YouTube



兵庫県立淡路景観園芸学校

兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科

教員：沈悦 田淵美也子 光成麻美

学生：石田真子 石原あかり 木崎詩恵 顧涵

朝魯門 馮子謙 プレンバヤル 柳本有美

協力：株式会社津村造園 大建工業株式会社